

## II 養護者(家族、親族、同居人等)による高齢者虐待

		令和6年度	令和5年度	増減
1 相談・通報対応件数	長崎県	308 件	329 件	-21 件
	全国	41,814 件	40,386 件	1,428 件
2 虐待判断件数	長崎県	160 件	171 件	-11 件
	全国	17,133 件	17,100 件	33 件
3 被虐待者数	長崎県	161 人	175 人	-14 人
	全国	17,472 人	17,455 人	17 人

・相談・通報対応件数は前年度より21件減少、虐待判断件数も11件減少しているが、過去2番目に多い。被虐待者数は14名減少している。



4 相談・通報者(複数回答)	計	長崎県		全国		
		令和6年度		令和5年度		
		人数	構成比	人数	構成比	
介護支援専門員	115 人	35.0 %	102 人	29.3 %	10,756 人	24.4 %
介護保険事業所職員	29 人	8.8 %	20 人	5.7 %	2,525 人	5.7 %
医療機関従事者	22 人	6.7 %	34 人	9.8 %	1,993 人	4.5 %
近隣住民・知人	7 人	2.1 %	10 人	2.9 %	1,168 人	2.6 %
民生委員	5 人	1.5 %	9 人	2.6 %	564 人	1.3 %
被虐待者本人	9 人	2.7 %	10 人	2.9 %	2,321 人	5.3 %
家族・親族	27 人	8.2 %	34 人	9.8 %	3,114 人	7.1 %
虐待者自身	3 人	0.9 %	5 人	1.4 %	601 人	1.4 %
当該市町村職員	13 人	4.0 %	16 人	4.6 %	2,029 人	4.6 %
警察	78 人	23.7 %	82 人	23.6 %	15,709 人	35.6 %
その他	21 人	6.4 %	24 人	6.9 %	3,277 人	7.4 %
不明(匿名を含む)	0 人	- %	2 人	0.6 %	50 人	0.1 %

・「介護支援専門員」からの相談・通報割合が最も多く、次いで「警察」の割合が高い。

5 虐待の内容	計	長崎県		全国		
		令和6年度		令和5年度		
		人数	構成比	人数	構成比	
(I) 虐待の種別(複数回答)	229 人	264 人		24,066 人		
※構成割合は被虐待者の実人数に対して算出	161 人(実人数)	175 人(実人数)		17,472 人(実人数)		
身体的虐待	105 人	65.2 %	117 人	66.9 %	11,203 人	64.1 %
介護・世話の放棄、放任	28 人	17.4 %	41 人	23.4 %	3,441 人	19.7 %
心理的虐待	71 人	44.1 %	71 人	40.6 %	6,496 人	37.2 %
性的虐待	1 人	0.6 %	- 人	- %	69 人	0.4 %
経済的虐待	24 人	14.9 %	35 人	20.0 %	2,857 人	16.4 %

・「身体的虐待」が最も多く、次いで「心理的虐待」が多い。

	長崎県				全国				
	令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度		
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
<b>(2)虐待の程度</b>	計	95 人	100.0 %	98 人	100.0 %	12,600 人	100.0 %	12,611 人	100.0 %
1) 軽度		34 人	35.8 %	44 人	44.9 %	5,061 人	40.2 %	5,053 人	40.1 %
2) 中度		42 人	44.2 %	37 人	37.8 %	4,656 人	37.0 %	4,748 人	37.6 %
3) 重度		16 人	16.8 %	12 人	12.2 %	2,071 人	16.4 %	2,025 人	16.1 %
4) 最重度		3 人	3.2 %	5 人	5.1 %	812 人	6.4 %	785 人	6.2 %

※令和3年度からは上記の4段階へ変更となっている。また、深刻程度を判断していないケースもあるため被虐待者数とは合致しない。

<b>(3)虐待による被虐待者の死亡</b>	-人	- 人	26 人	27 人
------------------------	----	-----	------	------

#### 6 被虐待者の状況

<b>(1)性別</b>	計	161 人	100.0 %	175 人	100.0 %	17,472 人	100.0 %	17,455 人	100.0 %
男		33 人	20.5 %	52 人	29.7 %	4,198 人	24.0 %	4,266 人	24.4 %
女		128 人	79.5 %	123 人	70.3 %	13,274 人	76.0 %	13,189 人	75.6 %
不明		- 人	- %	- 人	- %	- 人	- %	- 人	- %

・被虐待者の性別割合は女性が高くなっている。

<b>(2)年齢</b>	計	161 人	100.0 %	175 人	100.0 %	17,472 人	100.0 %	17,455 人	100.0 %
65~69歳		14 人	8.7 %	9 人	5.1 %	1,072 人	6.0 %	1,072 人	6.1 %
70~74歳		15 人	9.3 %	21 人	12.0 %	1,956 人	11.2 %	2,243 人	12.9 %
75~79歳		37 人	23.0 %	27 人	15.4 %	3,264 人	18.7 %	3,357 人	19.2 %
80~84歳		42 人	26.1 %	55 人	31.4 %	4,607 人	26.4 %	4,478 人	25.7 %
85~89歳		27 人	16.8 %	28 人	16.0 %	3,917 人	22.4 %	3,783 人	21.7 %
90歳以上		26 人	16.1 %	35 人	20.0 %	2,650 人	15.2 %	2,511 人	14.4 %
不明		- 人	- %	- 人	- %	24 人	0.1 %	11 人	0.1 %

・75歳以上の方が被虐待者となる割合が高くなっている。

<b>(3)要介護認定の状況</b>	計	161 人	100.0 %	175 人	100.0 %	17,472 人	100.0 %	17,455 人	100.0 %
未申請		39 人	24.2 %	34 人	19.4 %	3,640 人	20.8 %	4,021 人	23.0 %
申請中		5 人	3.1 %	1 人	0.6 %	636 人	3.6 %	615 人	3.5 %
認定済み		113 人	70.2 %	135 人	77.1 %	12,840 人	73.5 %	12,538 人	71.8 %
(内訳)									
要支援1		4 人	3.5 %	8 人	5.9 %	815 人	6.3 %	820 人	6.5 %
要支援2		10 人	8.8 %	12 人	8.9 %	971 人	7.6 %	976 人	7.8 %
要介護1		34 人	30.1 %	39 人	28.9 %	3,395 人	26.4 %	3,166 人	25.3 %
要介護2		29 人	25.7 %	28 人	20.7 %	2,699 人	21.0 %	2,705 人	21.6 %
要介護3		18 人	15.9 %	23 人	17.0 %	2,381 人	18.5 %	2,312 人	18.4 %
要介護4		11 人	9.7 %	17 人	12.6 %	1,633 人	12.7 %	1,623 人	12.9 %
要介護5		7 人	6.2 %	8 人	5.9 %	923 人	7.2 %	913 人	7.3 %
不明		- 人	- %	- 人	- %	23 人	0.2 %	23 人	0.2 %
認定非該当(自立)		2 人	1.2 %	5 人	2.9 %	267 人	1.5 %	263 人	1.5 %
認定非該当(ただし介護予防・生活支援サービス事業対象者)		2 人	1.2 %	- 人	- %	- 人	- %	- 人	- %
不明		- 人	- %	- 人	- %	22 人	0.1 %	18 人	0.1 %

・「要介護1」の方が被虐待者となる割合が最も高く、次いで「要介護2」の方の割合が高い。

<b>(4)認定済者の認知症日常生活自立度</b>	計	113 人	100.0 %	135 人	100.0 %	12,840 人	100.0 %	12,538 人	100.0 %
自立又は認知症なし		5 人	4.4 %	7 人	5.2 %	972 人	7.6 %	1,009 人	8.0 %
自立度I		19 人	16.8 %	28 人	20.7 %	2,044 人	15.9 %	2,060 人	16.4 %
自立度II		43 人	38.1 %	47 人	34.8 %	4,705 人	36.6 %	4,602 人	36.7 %
自立度III		34 人	30.1 %	32 人	23.7 %	3,210 人	25.0 %	3,064 人	24.4 %
自立度IV		5 人	4.4 %	9 人	6.7 %	931 人	7.3 %	896 人	7.1 %
自立度M		1 人	0.9 %	2 人	1.5 %	185 人	1.4 %	202 人	1.6 %
認知症あるが自立度不明		5 人	4.4 %	6 人	4.4 %	509 人	4.0 %	467 人	3.7 %
認知症の有無が不明		1 人	0.9 %	4 人	3.0 %	284 人	2.2 %	238 人	1.9 %

・「自立度II」の方が被虐待者となる割合が最も高くなっている。

	長崎県				全国				
	令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度		
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
(5)介護保険サービスの利用	計	113人	100.0 %	135人	100.0 %	12,840人	100.0 %	12,538人	100.0 %
受けている		91人	80.5 %	107人	79.3 %	10,493人	81.7 %	10,307人	82.2 %
過去に受けていたが、判断時点では受けていない		4人	3.5 %	6人	4.4 %	487人	3.8 %	503人	4.0 %
過去も含めて受けていない		17人	15.0 %	22人	16.3 %	1,810人	14.1 %	1,656人	13.2 %
不明		1人	0.9 %	-人	- %	50人	0.4 %	72人	0.6 %

・被虐待者のうち、介護保険サービスを「受けている」の割合が最も高い。

(6)虐待者との同居・別居	計	161人	100.0 %	175人	100.0 %	17,472人	100.0 %	17,455人	100.0 %
虐待者とのみ同居		94人	58.4 %	94人	53.7 %	9,446人	54.1 %	9,270人	53.1 %
虐待者及び家族と同居		41人	25.5 %	54人	30.9 %	5,523人	31.6 %	5,748人	32.9 %
虐待者と別居		26人	16.1 %	24人	13.7 %	2,315人	13.2 %	2,229人	12.8 %
その他		-人	- %	1人	0.6 %	180人	1.0 %	194人	1.1 %
不明		-人	- %	2人	1.1 %	8人	0.0 %	14人	0.1 %

・「虐待者とのみ同居」している割合が最も高く、次いで、「虐待者及び家族と同居」の割合が高い。

(7)家族形態	計	161人	100.0 %	175人	100.0 %	17,472人	100.0 %	17,455人	100.0 %
単独世帯		23人	14.3 %	13人	7.4 %	1,498人	8.6 %	1,405人	8.0 %
夫婦のみの世帯		41人	25.5 %	43人	24.6 %	4,262人	24.4 %	4,219人	24.2 %
未婚の子と同居		39人	24.2 %	48人	27.4 %	5,943人	34.0 %	5,777人	33.1 %
配偶者と離別・死別等した子と同居		17人	10.6 %	20人	11.4 %	1,828人	10.5 %	1,938人	11.1 %
子夫婦と同居		10人	6.2 %	16人	9.1 %	1,533人	8.8 %	1,677人	9.6 %
その他親族と同居 (子と同居せず、子以外の親族と同居している場合)		30人	18.6 %	34人	19.4 %	2,380人	13.6 %	2,392人	13.7 %
不明		1人	0.6 %	1人	0.6 %	28人	0.2 %	47人	0.3 %

・家族形態は、「夫婦のみの世帯」の割合が最も高く、次いで「未婚の子と同居」の割合が高い。

※『未婚の子』は配偶者がいたことのない子を指す。

7 虐待者の状況									
(1)被虐待者との続柄 (延べ人数)	計	167人	100.0 %	180人	100.0 %	18,312人	100.0 %	18,335人	100.0 %
夫		47人	28.1 %	38人	21.1 %	4,216人	23.0 %	4,178人	22.8 %
妻		9人	5.4 %	17人	9.4 %	1,303人	7.1 %	1,386人	7.6 %
息子		59人	35.3 %	58人	32.2 %	7,119人	38.9 %	7,100人	38.7 %
娘		25人	15.0 %	36人	20.0 %	3,533人	19.3 %	3,459人	18.9 %
息子の配偶者(嫁)		6人	3.6 %	5人	2.8 %	405人	2.2 %	414人	2.3 %
娘の配偶者(婿)		-人	- %	2人	1.1 %	191人	1.0 %	192人	1.0 %
兄弟姉妹		10人	6.0 %	6人	3.3 %	415人	2.3 %	411人	2.2 %
孫		2人	1.2 %	11人	6.1 %	472人	2.6 %	489人	2.7 %
その他		9人	5.4 %	7人	3.9 %	655人	3.6 %	700人	3.8 %
不明		-人	- %	-人	- %	3人	0.0 %	6人	0.0 %

・「息子」が虐待者となる割合が最も高く、次いで「夫」の割合が高い。

(2)年齢 (延べ人数)	計	167人	100.0 %	180人	100.0 %	18,312人	100.0 %	18,335人	100.0 %
40歳未満		7人	4.2 %	15人	8.3 %	1,072人	5.9 %	1,048人	5.7 %
40~49歳		15人	9.0 %	27人	15.0 %	2,244人	12.3 %	2,455人	13.4 %
50~59歳		37人	22.2 %	32人	17.8 %	5,005人	27.3 %	4,979人	27.2 %
60~64歳		18人	10.8 %	15人	8.3 %	1,876人	10.2 %	1,768人	9.6 %
65~69歳		14人	8.4 %	16人	8.9 %	1,224人	6.7 %	1,197人	6.5 %
70~74歳		19人	11.4 %	14人	7.8 %	1,232人	6.7 %	1,443人	7.9 %
75~79歳		18人	10.8 %	8人	4.4 %	1,651人	9.0 %	1,567人	8.5 %
80~84歳		15人	9.0 %	27人	15.0 %	1,652人	9.0 %	1,708人	9.3 %
85~89歳		10人	6.0 %	11人	6.1 %	1,064人	5.8 %	945人	5.2 %
90歳以上		3人	1.8 %	2人	1.1 %	323人	1.8 %	277人	1.5 %
不明		11人	6.6 %	13人	7.2 %	969人	5.3 %	948人	5.2 %

・虐待者の年齢は「50~59歳」の割合が高くなっている。

8 対応（複数回答）	計	長崎県				全国			
		令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
8 対応（複数回答）	計	267 人	100.0 %	290 人	100.0 %	24,386 人	100.0 %	24,156 人	100.0 %
(内訳)	被虐待者の保護として虐待者からの分離を行った事例	38 人	14.2 %	50 人	17.2 %	4,644 人	19.0 %	4,837 人	20.0 %
	介護保険サービスの利用	17 人	44.7 %	17 人	34.0 %	1,642 人	35.4 %	1,629 人	33.7 %
	老人福祉法に基づく措置	3 人	7.9 %	6 人	12.0 %	752 人	16.2 %	751 人	15.5 %
	緊急一時保護	3 人	7.9 %	2 人	4.0 %	468 人	10.1 %	529 人	10.9 %
	医療機関等への一時入院	8 人	21.1 %	13 人	26.0 %	804 人	17.3 %	806 人	16.7 %
	住まい・施設等の利用	2 人	5.3 %	5 人	10.0 %	560 人	12.1 %	646 人	13.4 %
	虐待者の転居等	3 人	7.9 %	5 人	10.0 %	216 人	4.7 %	257 人	5.3 %
	その他	2 人	5.3 %	2 人	4.0 %	202 人	4.3 %	219 人	4.5 %
	被虐待者と虐待者を分離していない事例	120 人	44.9 %	123 人	42.4 %	12,948 人	53.1 %	12,659 人	52.4 %
	対応について検討・調整中の事例	6 人	2.2 %	1 人	0.3 %	400 人	1.6 %	412 人	1.7 %
	虐待判断時点で既に分離状態の事例	52 人	19.5 %	46 人	15.9 %	4,022 人	16.5 %	3,764 人	15.6 %
その他		51 人	19.1 %	70 人	24.1 %	2,372 人	9.7 %	2,484 人	10.3 %

・「被虐待者と虐待者を分離していない事例」の割合が最も多い。分離を行った事例では、「介護保険サービスの利用」の割合が高くなっている。